

# 愛媛県の地震

2023年（令和5年）6月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（6月）	1
3. 地震一口メモ	
普及啓発資料「津波フラッグをおぼえよう！！」	
について	2

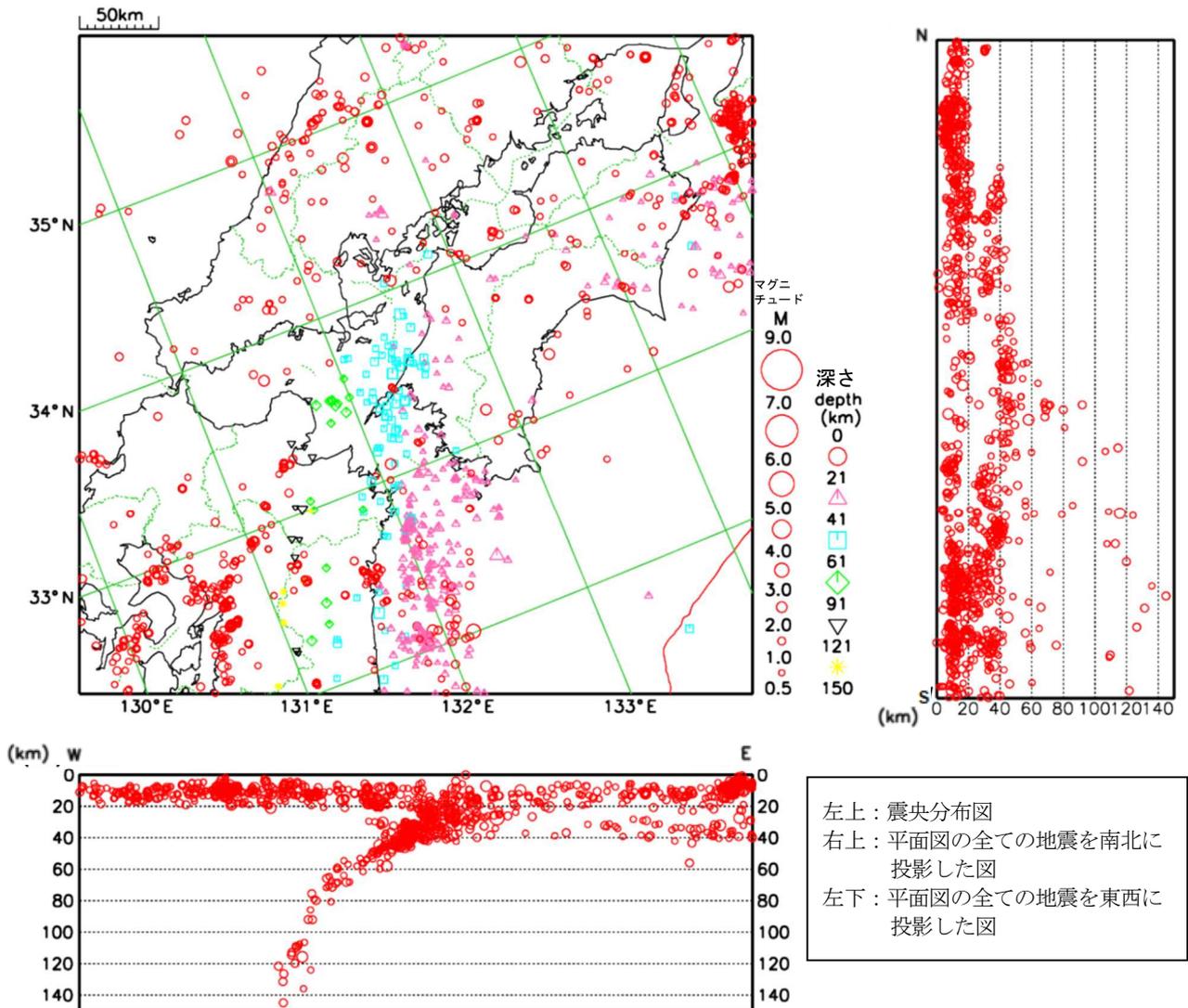
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

## 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2023年6月1日～6月30日]



## 2. 地震概況（6月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 51 回（先月は 67 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 0 回（先月は 4 回）でした。

### 3. 地震一口メモ

#### 普及啓発資料「津波フラッグをおぼえよう！！」について

今回は、「津波フラッグ」について、マンガでわかりやすく解説した資料「津波フラッグをおぼえよう！！」をご紹介します。

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的の伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

小冊子「津波フラッグをおぼえよう！！」では、津波フラッグや津波の仕組みを、カラーのマンガや図で説明しています。資料は、以下のホームページでダウンロードできます。また、松山地方気象台に冊子がありますので、ご希望の方は気象台までお問い合わせください。

・気象庁HP 「津波フラッグをおぼえよう！！」

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami\\_flag\\_manga/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_flag_manga/index.html)



小冊子「津波フラッグをおぼえよう！！」表紙



同冊子 5ページ目より抜粋